

氏名

ながまつ ひろし
永松 浩

所属	歯学科 口腔機能学講座 総合診療学分野		
職名	准教授		
最終学歴	九州歯科大学大学院	学位	博士（歯学）

専 門 分 野	総合診療学				
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別
	プロフェッショナルリズムⅡ	2 単位	20.0 時間	時間	歯学科・口腔保健学科
	情報リテラシーⅠ	1 単位	時間	30.0 時間	歯学科・口腔保健学科
	総合診療学3（症例検討会）	2 単位	30.0 時間	時間	大学院
	医療コミュニケーションⅠ	2 単位	14.0 時間	時間	歯学科・口腔保健学科
	医療コミュニケーションⅡ	1 単位	8.0 時間	時間	歯学科・口腔保健学科
大学運営における主な役職履歴（過去5年間）	病院教授、臨床研修センター副センター長・副プログラム責任者、附属病院医療部会副部会長、歯科医師国家試験対策会議委員				
研 究 分 野	医療コミュニケーション、プロフェッショナルリズム、シミュレーション歯科医学教育、歯科医療情報、多職種連携				
研究課題	課題名	九州歯科大学におけるプロフェッショナルリズム教育 歯学部学生・研修歯科医のプロフェッショナルリズムに対する認識 地域包括ケアと多職種連携における歯科医療人の取り組み 歯科臨床実習教育シミュレータの活用と歯科臨床技能の評価 医療情報システム再構築に向けた実態調査 医療情報システムにおける歯科医療情報の標準化に関する取り組み 歯科電子カルテの要件とその運用について 中性電解水の歯科臨床における有用性 コロナ禍による歯科診療現場での多職種連携の問題点と教育への反映 コロナ禍による訪問歯科診療における多職種連携の問題点の抽出			
	キーワード（5つまで）	医療コミュニケーション、シミュレーション歯科医学教育、プロフェッショナルリズム、医療情報、中性電解水			
	共同研究等の実績	中性電解水の歯科臨床における有用性（九州歯科大学同窓会、分担者） ファイバーポスト支台築造の最適な構成材料弾性率の模索－残存歯質内応力集中に対する有限要素感度解析による最適化－（九州歯科大学同窓会、分担者）			
研 究 業 績 （著書・発表論文等） （最新の5編）	永松有紀、池田 弘、永松 浩：口腔ケア用ジェルへの応用を目指した中性電解水配合ジェルの簡便な調製法とその除菌効果. 機能水研究 18(2)：1-9, 2024				
	中道敦子・寺下正道・山口紫乃・永松 浩：問題志向型システムに基づく歯科医療記録の提案 第2報 問題志向型歯科衛生業務記録. 九州歯会誌76(3・4)，49～55. 2023				
	寺下正道・中道敦子・永松 浩・山口紫乃：問題志向型システムに基づく歯科医療記録の提案 第1報 問題志向型歯科診療記録. 九州歯会誌75(3・4)，31～38. 2022.				
	永松 浩、他(分担執筆)：技工指示書の書き方，必修 臨床研修歯科医ハンドブック 令和4年度診療報酬改定対応版. 医歯薬出版株式会社. 2022				
	Nagamatsu Y, Nagamatsu H, Ikeda H, Shimizu H: Microbicidal effect and storage stability of neutral HOCl-containing aqueous gels with different thickening/gelling agents. Dent Mater J, 2021.				
産学官連携実績 （主要3件）	歯科医療情報の標準化に関する共同プロジェクト（一般財団法人 医療情報システム開発センター） 歯科教育用シミュレータの開発・普及に関する連携 中性電解水の歯科臨床における有用性の評価				
産学官連携 可能・希望分野	歯科医学教育シミュレーター、歯科医療情報システム				
取得した実用新案特許等 （主要5件）					
所 属 学 会 （主要5件）	日本歯科医学教育学会、日本総合歯科学会、九州歯科学会、日本歯科医療管理学会、日本シミュレーション医療教育学会				